

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》小林 正伸

**【概要】**

急性期にある患者の病態の基礎を学ぶことにより、成人看護各論の理解を支える科目の1つである。  
主に外科治療の対象となる疾患とその手術術式や合併症、および術前・術中・術後の病態生理を中心に学ぶ。

**【学習目標】**

- ・術前・術中・術後の看護の理解に必要な急性期の病態生理、麻酔法等について説明できること。
- ・救急やICU看護、また外科治療の対象となる各種疾患の看護に必要な知識を得ること。
- ・心筋梗塞や脳血管疾患など頻度の多い内科領域の急性期病態について説明できること。

**【学習内容】**

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	手術治療総論	手術の目的と種類 / 鏡視下手術 / 手術侵襲と生体反応	小林
2	手術治療総論	水分・電解質代謝、栄養と輸液	小林
3	手術治療総論	滅菌法と消毒法、手術器械	小林
4	手術治療総論	麻酔、人工呼吸・ガス分析(1)	小林
5	手術治療総論	麻酔、人工呼吸・ガス分析(2)	小林
6	手術治療総論	出血と輸血、臓器移植	小林
7	手術治療総論	術後の疼痛管理、手術合併症	小林
8	手術治療総論	感染管理	小林
9	手術治療各論	自然気胸、胸部外傷、乳がん	小林
10	手術治療各論	先天性心疾患、不整脈、大動脈瘤	小林
11	手術治療各論	消化器疾患	小林
12	救急・ICUの看護	ショック、熱傷、急性腹症	小林
13	救急・ICUの看護	心肺停止への対応、意識障害への対応、呼吸障害への対応など救急処置法の実際	小林
14	心筋梗塞の急性期病態	心筋梗塞の病態と評価 / 心電図の判読 / 治療法の選択	小林
15	脳血管疾患 / 頭部外傷 の急性期病態	意識障害の評価 / 頭蓋内圧亢進 / 脳出血、脳梗塞の急性期病態と症状 / 頭部外傷の病態と症状	小林

**【評価方法】**

定期試験100%

**【備考】**

参考書 : ナースの外科学 改訂6版 (磯野 可一 編) 中外医学社 2013 その他: 毎回講義ノートを配布します。

**【学習の準備】**

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味などを理解しておくこと。  
授業中に配付された講義ノート復習し、次回の授業までに理解を深めておくこと。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2,3,4

**【実務経験】**

医師

**【実務経験を活かした教育内容】**

病院での医師としての経験から実践的教育を行う